



教育委員コラム

発行元
弟子屈町教育委員会
委員長 小澤 重
職務代理 榎本 悦子
委員 菅原 誓之
委員 金井 秀明
教育長 小林 俊夫



北海道 弟子屈町
Teshikaga Town

弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

教育委員リレーコラム

《終戦70年 平和記念式典に参列して》

委員長職務代理 榎本悦子



8月6日、広島で毎年行われている平和記念式典に参列しました。6年前に生協の平和活動として初めて広島を訪れて以来のことです。式典参加は団体が多く、今回私は個人でしたので、大変だったのは宿泊先の確保でした。昨年の秋頃からトライし、ようやく春先に予約でき、個人で記念式典に参列することができました。

広島では資料館の他には、前回と同じように袋町小学校と本川小学校を訪れようと思っていました。資料館の原爆投下当時の状況やその後の被爆者の苦しみを伝える展示物を見学し、「人間はこれ程までに惨いことをしてしまうものか」という悲しみや怒りの気持ちは前回以上に深いものとなりました。この時期広島には驚くほど多くの外国人が訪れていて、資料館では圧倒的な人数の外国の方々と一緒に見学しました。いろいろな国・人種・宗教、その中には核保有国の人もいるのですが、誰もが「原爆の惨状は人間として許せない」と感じたのではないのでしょうか。袋町小学校と本川小学校は爆心地に近い小学校で、焼け残った旧校舎の一部を資料館にしています。本川小学校は「はだしのゲン」に登場する学校ですが、登校日となっている5日は被爆体験を中心とした講和を聞く全校集会が行われていました。「はだしのゲン」の作者である中沢啓治さんは既に亡くなくなりましたが、6年前にはお元気で直接お話を聞いたのは貴重なことでした。

資料館見学の他は被爆体験者のお話を多く聞くことができました。原爆投下から70年、当時は子供だった被爆者の方々も高齢になり、「実際体験した自分達が伝えなければ」というお気持ちが強くなり、「戦争はいけない」と繰り返し話されたことが心に残りました。

広島と長崎は人類が初めて原爆を体験した「ヒロシマ」「ナガサキ」であり、「平和の大切さを願い」世界に警鐘を鳴らす所です。これから世界に羽ばたく日本の子供達には、是非とも皆が広島・長崎を訪れ、戦争や核に対して自分の考えを持てるようになって欲しいと願っています。

(次回のリレーコラムは菅原委員です)

教育あっちこっち情報



「最近のヒグマ出没について」

教育委員 金井 秀明

弟子屈町は、自然に恵まれた風光明媚な町です。しかし豊かな自然があるという事は、厳しい自然もあるという事です。最近のヒグマの出没もその一例で、毎日のように出没情報が流れています。私を含め誰もヒグマと会いたくありません。しかし卒業研究で弟子屈町に来ている学生はそんな事を言っているわけではありません。調査のため山の中や川の中に入っていきます。ですから調査に入る時には、熊撃退スプレーや鉈を持ち、山に入る前は「クマさんこれから調査に入りますから出てこないで」と大声で叫びながら入ります。交通事故と同じように、出会いがしが一番危険だからです。でもヒグマに罪はありません。上手く共存できる道を探りましょう。



「北海道市町村教育委員研修会」

教育委員 菅原 誓之

先般、第52回となる全道教育委員の研修会が札幌にて開催された。

当日は全道各地から教育委員や関係者約700名の参加があり、盛大な研修会となりました。

講義では、教育委員会制度の改正に伴う「総合教育会議」の重点事項や、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が、来年4月から新たに制度が認められる事。等の報告がありました。その後、フォーラムでは道内3町（厚沢部町・東神楽町・白糠町）の教育長より、各町での教育に関する取り組み事例などの発表があり、それぞれの個性に刺激を受け、とても充実した研修会となりました。



「第3回弟子屈町ジュニアパークレンジャー事業に参加しました」

委員長職務代理 榎本 悦子

6月29日、川湯地区の小学生・中学生・保育園が一緒に外来種オオハンゴンソウの駆除をしました。この事業の前段、それぞれ学校等で「外来種やオオハンゴンソウ」について説明を受けていて、似ているヨモギと間違えないよう真剣でした。天候に左右され実施が難しい事業ですが国立公園にある学校らしい内容の事業でした。



「当町で釧路管内社会教育委員研修会開催」

教育長 小林 俊夫

8月21日当町福祉センターで釧路管内の社会教育委員や関係者等62名が参加して行われました。開会式の後、川湯エコミュージアムセンター指導員の片瀬志誠氏の講話・北翔大学の谷川松芳教授の基調講演、更には金子清人長沼町社会教育委員長から貴町の社会教育委員活動が紹介されました。

午後からは清水秀紀釧路教育局主査の指導によるグループワークなど大変充実した研修会となりました。

18:00からは夕食を食べながらの交流会が行われ、ゲーム大会では笑いっぱいの楽しいひと時となりました。特に用意された夕食は地元産食材を使った当町委員の手作り料理とあって大好評でした。当町委員の連携力と行動力に圧倒された素晴らしい研修会となりました。



「二学期を前に弟子屈町の小・中学校・高等学校の校長先生・教頭先生達が全員集合し元気をアピール!!」

教育委員長 小澤 重

夏休みも終わりに近い8月19日弟子屈町校長会・教頭会合同研修会の後、同会主催により弟子屈町長公宅に於いて教育関係者懇親交流会が行われました。ご来賓には、釧路教育局石川忠博局長様・同局、室山俊美指導監様・弟子屈町長徳永哲雄様・弟子屈高校木村浩士校長様・同校、上野秀俊教頭様が出席されました。教育委員会からは、小林教育長・榎本職務代理者・菅原委員・水上室長・山本管理課長・藤森補佐・有馬給食センター副所長と私小澤が出席しました。

徳永町長のご厚意により公宅で行われています。小中高の先生方の交流が深まり、弟子屈町の教育の充実繋がっている事を実感しました。



★ ★ 編集後記 ★ ★

近年、北海道の夏が変わりつつあるように感じます。急な猛暑日が続いたり、突然のゲリラ豪雨など。昨今は朝夕もめっきり涼しくなり、いよいよ秋です。食欲の秋・読書の秋・・・皆さんは〇〇の秋になりそうですか？

季節の変わり目です。体調管理だけには気を付けたいものです。
(菅原)